

新入生の皆さん、筑波大学へ入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんを心より歓迎し、お祝い申し上げます。また、ご両親をはじめとするご家族の皆様、関係者の方々にも心よりお祝いを申し上げます。

今年の10月1日に筑波大学は、開学40周年を迎えます。筑波大学は、1973年（昭和48年）に当時の東京教育大学をベースに「新構想大学」として開学しました。本学は我が国で最も斬新な総合大学であると同時に、1872年（明治5年）に我が国初の高等教育組織である「師範学校」として発足し、東京教育大学から筑波大学に変わるまでの101年という長い伝統と実績を誇る大学でもあります。変革と再生が求められている今日ですが、私たちは40年前に先駆的に大学に対する新しい考え方を取り入れて、多くの期待や夢をこめて、自然あふれる環境都市、つくばの地に移ってきました。本学はあらゆる面で「開かれた大学」となることを目指し、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを建学の理念として、我が国における大学改革を先導してきました。この40年の間に本学が挑戦してきた「新構想」の多くは、我が国の他の多くの大学に波及してきました。

「新構想」に必要なものは夢です。本学は、学生の視点に立ちながら、先端的・独創的な知を創出する高いレベルの研究を基盤とし、質の高い教育を通じて個性豊かなグローバル人材を育成することを使命としています。教職員はこの誇りと使命を皆さんと共有することにより、皆さんを心から応援したいと考えています。そして本学は、つくばの地に創造的かつ個性的な大学文化を発展させる努力を続け、大学の夢は確実に実現しつつあります。本学には世界各国から、また全国各地から多様な学生が集ってきています。留学生数は国立大学の中ではトップクラスです。本学はグローバル30の拠点校として、国際色豊かな大学、多様な価値観を尊重する大学として発展しています。本学は、他に類を見ない幅広い学問分野を持つ総合大学であり、専門分野を深化させながら、学際・融合的な教育研究を積極的に展開し、数々の顕著な研究成果を上げるとともに国際的研究・教育拠点としての高い評価を得ています。また研究大学院大学として、我が国の11のResearch Universitiesで構成されるRU11の一つとして、先端的な研究を推進することが求められています。ノーベル賞受賞者の朝永振一郎博士、江崎玲於奈博士、白川英樹博士の三氏は本学関係者です。一方、オリンピックでは本学の多くの教員や学生が、金メダルを含めた数多くの実績を残しています。スポーツ界における「体罰」問題に関しての提言を例にとるまでもなく、本学には公平な視点から真のスポーツの発展を牽引する力があります。

皆さんの夢は何でしょうか。皆さんは多くの夢と期待に胸を膨らませて、筑波大学キャンパスでの大学生活を今日から始めます。筑波大学は都心から一時間の距離にありながら、キャンパスは広大な自然に囲まれ、都会の喧騒とは無縁であり、皆さんにとって緑あふれる魅力あるキャンパスライフの基礎になることと確信しています。皆さんは大学で、どのようなことに挑戦するのでしょうか。勉学に励み、課外活動を満喫し、多くの友情を育み、その結果高い専門力のみならず、多様な経験に基づいて幅広い知識や教養、コミュニケーション能力などが身に付くはずで、特に、コミュニケーションは双方向性ですので、自立性とともに関わり合いの思いやりや共感、チームワークを大切にできる資質に直結しています。大学で身に付けたことをどのようなことに結びつけるのでしょうか。大学院に進学して、さらに科学と技術を学び、学者や研究者を目指しますか。あるいは、産業の活性化に関わりますか。卒業とともに、社会の重要な一員として活躍しますか。ベンチャーなどを起業しますか。それとも資質の発揮できる個人業種でしょうか。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。大志を抱いて、充実した大学生活を送ることを期待しています。人気の音楽ユニット「ドリカム」の正式バンド名は、

「Dreams come true」です。主語は複数です。そうです、夢は一つではありません。

開かれた大学として、学び、考え、想像して未来を拓く視点を、本学では分かりやすく **IMAGINE THE FUTURE.** というキャッチフレーズで表現しています。開学の理念にあるように、本学は「不断の改革に挑戦する大学」です。本学は希望ある未来を創造する大学であり続けるためにさらなる挑戦と冒険を重ねています。社会はグローバル化し、激動しています。従前に比較すると、見通しの利かない社会であり、用意されたわかりやすい解答也没有ありません。夢を抱き、本学で学び暮らす皆さんには、是非とも新しい付加価値を生み出すような想像力を培っていただきたいと願っています。 **IMAGINE THE FUTURE.** です。ヒトと地球にとって豊かな未来を想像、すなわち **imagine** しなければ、未来を創造すなわち **create** できません。次の時代がどうなるか、どうあるべきか大胆に想像して、新時代を開拓できる力を蓄えてください。そして、常に夢に向かって自己改革を進めてください。

科学と技術の進歩は、社会に大きな発展をもたらしてきました。しかし、一方で数多くの問題をも発生させてきました。エネルギー・資源に関する問題、産業・経済の活性化の問題、食料、少子高齢化の問題を含む人口構成の問題、格差社会の問題などの種々の問題です。さらに、今回の大震災は、信頼していた科学技術や社会システム・人智の限界をあらわにし、改めて自然の脅威を見せつけました。これらの限界や脅威を克服しなければ、安定した成熟社会の実現は困難です。このような問題を解決するために、日本も世界もあらゆる分野で、新たな成長を生み出そうと必死の努力をしています。これらの問題と問題解決を考える時、さらに重要な点は、問題を地球規模で共有し、解決に向けた活路を地球と地球社会の一員としての自覚を持ちながら、見いだして行かなければならないということです。私たちが挑戦するのは地球規模課題ですから、地球に暮らす人たちの考え方、生活、文化を知り、既存の境界を越えて情報や想いを共有し、連携することが大切であることを認識して欲しいと考えています。

夢についても、課題についても述べました。いろいろなことを身に付けていかなければなりません。そのために、これから本学で暮らす皆さんに、ヒントを差し上げます。私は皆さんに武者修行をお勧めします。先に述べたように、本学では開学当初から、国籍や言語の垣根を越えて学びあう学生と教員が知の共同体を共創してきました。この共同体は漢字で表す「筑波」という大学やひらがなで表す「つくば」という都市を越えて、ローマ字 **TSUKUBA** で表すことのほうがふさわしいグローバル・コミュニティーです。さまざまなことばと文化が行き交い、国際性が日常化する本学と本学を中核とする研究学園都市では、皆さんさえ望めば、毎日が国際感覚を磨く武者修行の場なのです。加えて、本学は7ヶ所の海外事務所を有し、また55の国と地域及び国際連合大学と合計225件の交流協定を結んでおり、海外で武者修行する機会や経済支援も充実しています。今や、研究にもビジネスにも国境はありません。卒業後の皆さんを待っているのは、言語や文化の異なる多様な人々が力を合わせたり、ぶつかり合うグローバル社会です。皆さんが本学で幅広い学識と強靱な自立心を身に付けるためには本学は力の限り支援し、皆さんが **TSUKUBA** から世界に飛び出し、ヒトと地球の未来を切り拓いていくことを強く期待しています。

繰り返しますが、皆さんの未来への夢を、筑波大学キャンパスを起点として、是非、実現してもらいたいと願っています。4年後の卒業式に臨む皆さんはどのように変わっているのでしょうか。皆さんが着実に実力を蓄えて、飛躍し、**TSUKUBA** らしさを表現することを心から期待して、私の式辞といたします。

平成25年4月8日

筑波大学長 永田 恭介